

津久井総合事務所を中心とした公共施設のあり方を考える 市民対話ワークショップNEWS 第2号



●第2回市民ワークショップを開催しました

第2回は「施設を見て、“今”を深掘りしよう！」をテーマに、津久井総合事務所などの公共施設見学や周辺のまちあるきを行いました。グループワークでは、施設見学やまちあるきで感じた魅力や課題を付せんに書き出すとともに、課題の解決策について考えました。

1. あいさつ

- ・ ファシリテーターのあいさつ

2. 公共施設見学とまちあるき

- ・ 参加者が、利用者役と施設管理者役に分かれてロールプレイ方式で施設を見学
- ①津久井総合事務所
- ②津久井中央公民館・津久井老人福祉センター
- ③津久井保健センター
- ・ グループごとに周辺まちあるき

3. 学生からの発表

- ・ 中野エリアの魅力や課題、歴史について

4. グループワーク

- ・ 施設見学で感じた施設の魅力や課題、解決策などをまとめる
- ・ まちあるきで感じたことをまとめる

5. 発表・意見交換

- ・ グループごとの発表

6. まとめ

- ・ ファシリテーターによるまとめ

●公共施設見学

施設管理者から話を聞きました

気づいたことをメモします



●まちあるき

歴史深い

思いのほか車が多い

道が狭い



芝浦工業大学学生からの発表

中野エリアの道路は不自然に蛇行した道や道幅が変化していた。中野エリアは、典型的な河岸段丘で、昔の水路や地形に合わせて現在の道路や公共施設が建設されたと考えられる。

●グループワークの様子

公共施設見学のまとめ



まちあるきのまとめ



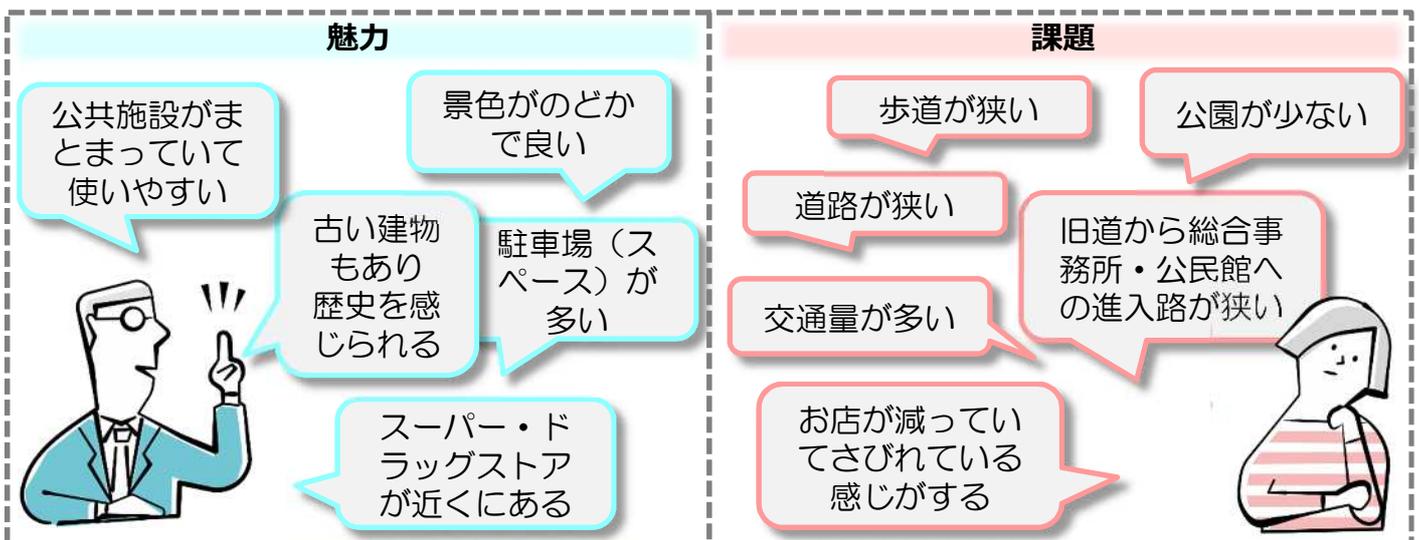
●グループワークの成果発表・意見交換（一部抜粋）

《公共施設見学》

(グループ)

施設	魅力	課題	解決策
津久井総合事務所	<ul style="list-style-type: none"> 車イスが事務所内を通れるようになっていて、トイレもみんなのトイレを設けている (A) 大型コピー機は便利 (C) 駐車場が広く、止めやすい (D) 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に建物が分かれているので「課」が分かりづらい (A) 建物が古い (B) 階段が少し急 (B) バリアフリーになっていない (B) 	<ul style="list-style-type: none"> 総合事務所と保健センターは一緒にしても良いのでは (A) 事務所の課をまとめてコンパクトにしても良いのでは (B)
津久井中央公民館・老人福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 大きなホールがある (B) 目的別、多目的に利用できる部屋がある (C) 図書室、料理実習室、視聴覚室、ホールなど、文化に関するものが一か所にまとまっている (D) 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の廊下の天井が低く照明が暗かった (A) 利用が多い多目的室や講義室が3階だと階段が大変 (A) ホールに対してトイレが少ない。車イスには不便 (B) 公民館は登録団体しか使えない (D) 	<ul style="list-style-type: none"> 利用の多いところは1階にする (A) 図書室に読書のスペースがあると良い (B) 公民館のホールは、料金を高くして、一般の人にも貸し出しした方が良い (C) 公民館の部屋の用途の見直し（時代にマッチしているのか？） (D)
津久井保健センター	<ul style="list-style-type: none"> 親しみがある (B) 他の施設に比べて明るい (B) 旧役場に比べると築年数は若い (C) コンパクトなので移動が楽 (D) 	<ul style="list-style-type: none"> 照明類の交換が必要 (A) 近寄りやすい (B) 雨漏りがある (C) 各部屋の間取りが悪く使いにくい (C) 	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターと老人福祉センターを一つにまとめる (A) 保健センターとメディカルセンターが一緒の所の方がよい (A)

《まちあるき》



●ファシリテーターのまとめ

- 公共施設の見学では、これまでにならかなり施設の複合化や用途変更をしていて、窮屈な状況だと感じる一方、コンパクトで使いやすいという皆さんの意見も参考になりました。
- まちあるきは、実際に歩きながら、どこで子どもが遊んでいて、どこに抜け道がある、昔はお店があったなど、たくさん情報を出していただけて良かったです。
- 今回出していただいた情報をしっかりまとめ、老朽化した総合事務所の建て替えにあわせ、これからの公共施設をどうしていくか、第3回と第4回で考えて行きましょう。

